平成29年度

環境活動レポート

活動期間

H29年9月1日～H30年8月31日

発行日　H３０年10月15日

山口電気工事株式会社

目　次

１．組織の概要
２．対象範囲［認証・登録範囲］
３．環境方針
４．環境方針とその実績
５．環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
６．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等
７．代表者による全体評価と見直しの結果

1．組 織 の 概 要

(1) 事業者名及び代表者名

山口電気工事株式会社

代表取締役　山口 節夫

(2) 所在地

〒660-0064 兵庫県尼崎市稲葉荘1丁目13番5号

(3) 環境保全関係の責任者及び連絡先

環境管理責任者　　電力工事部　主任　　前田　高良

環境事務局　　専 務 取 締 役　　山口　寛

TEL：06-6416-7441

FAX：06-6416-7444

E-mail：yamaguchi-denki@mvc.biglobe.ne.jp

(4) 事業の概要

発電所・変電所における電力設備工事、官公庁の住宅・病院・学校等における電気設備工事

(5) 事業の規模（平成29年度）

売上高　　496 百万円

工事件数　　150件

従業員　　34名　（平成29年9月1日現在）

延床面積　710㎡

他に資材倉庫（140㎡）、資材倉庫兼駐車場（516㎡）

資材倉庫　　〒660-0064　尼崎市稲葉荘3丁目8番6号

資材倉庫兼駐車場　〒660-0064　尼崎市稲葉荘4丁目17番2号

2．認証・登録の対象組織・活動

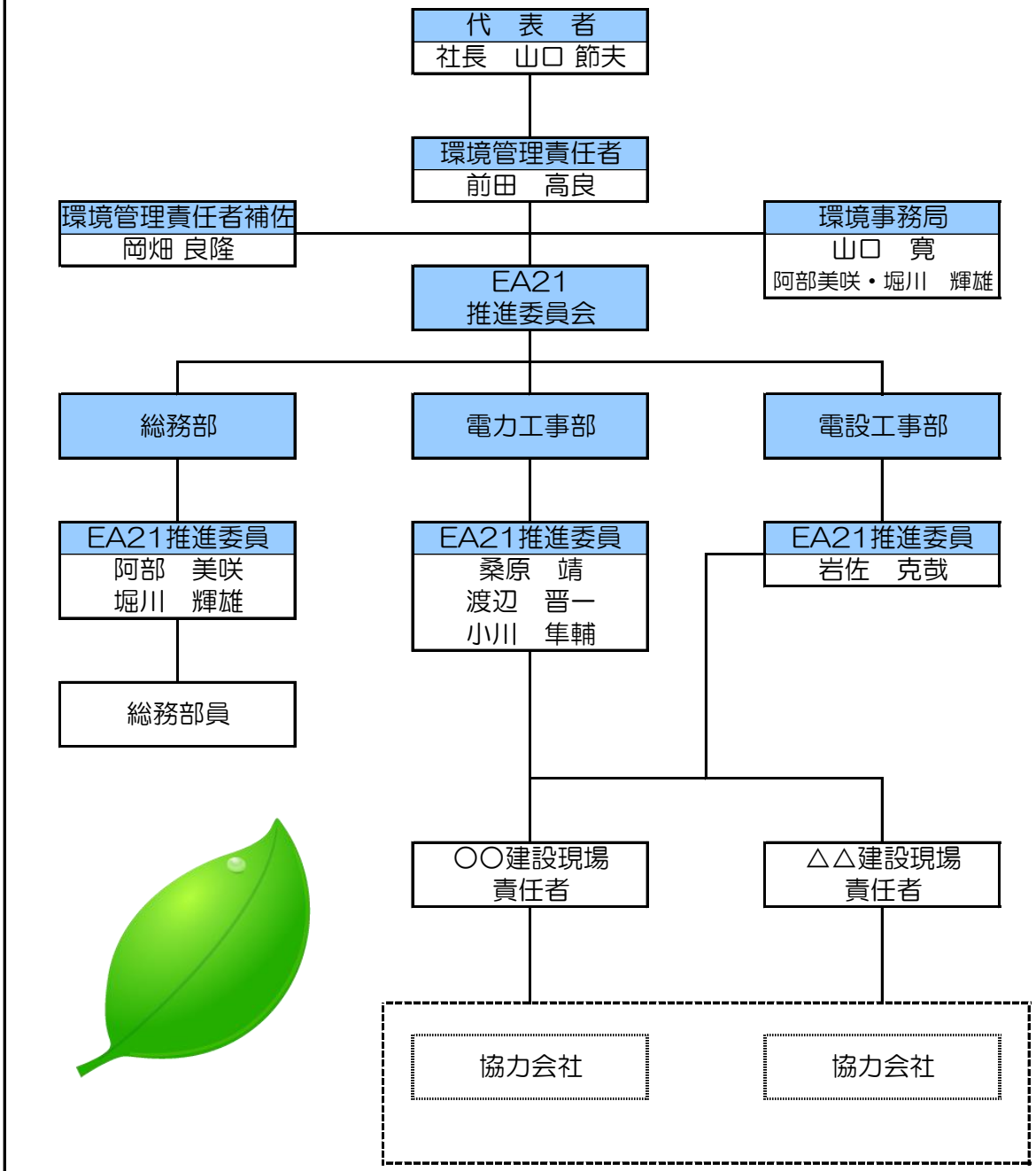
(1) 登録組織名　　山口電気工事株式会社

(2) 対象事業所　　本社 ， 資材倉庫 ， 資材倉庫兼駐車場
各　作業現場

(3) 対象活動　　発電所・変電所における電力設備工事、官公庁の住宅・病院・学校等における電気設備工事

EA21 実施体制

期間：H30, 1, 1～H30,12,31



3. 環境方針

〔 基本理念 〕

山口電気工事株式会社は、電力流通事業発注の電力工事施工及び官公庁発注の電気設備工事施工事業に関し、省エネ活動、二酸化炭素他の排出低減活動を、全社あげて真摯に考え、積極的に活動展開する事により、社会貢献の一助となる事を目指します。

〔 行動指針 〕

1．山口電気工事株式会社における活動に関連し、環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。
①ＣＯ２排出量（電気・化石燃料）の削減。
②工事現場もふくめた全社での廃棄物分別の徹底と排出量の削減、及び再資源化の推進。
③グリーン購入の推進。
④コピー用紙の使用量の削減。
⑤水使用量の削減。
⑥化学物質使用の適正・維持管理。
⑦環境に配慮した設計・施工の推進・提案。
⑧工事現場に於ける実施状況チェック（個人用）。

2．環境保全に関わる法令・規則・条例等を順守します。

3．行政機関・団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動に対し、積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。

4．この環境方針は全従業員に周知徹底します。

山口電気工事株式会社
代表取締役　　山口　節夫

制　　定　：　平成２１年１０月　１日

改　　定　：　平成２６年　９月　１日

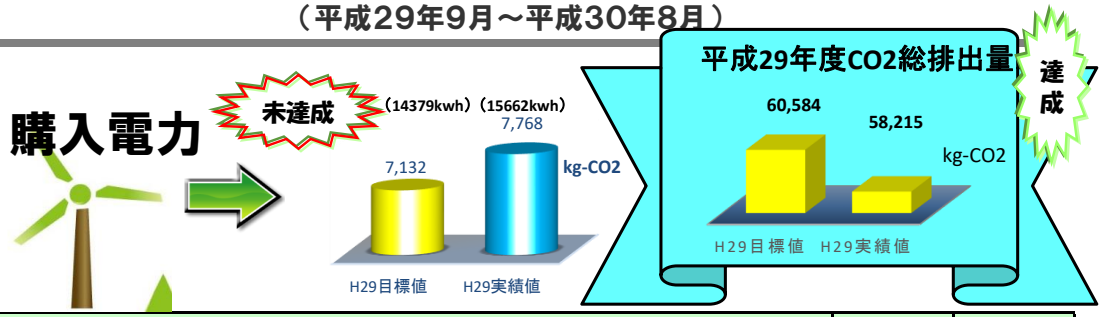
4. 環境目標とその実績

No.	取組項目	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値（基準年度）	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 目標値	平成29年度 実績値	平成29年度 達成率	平成30年度 目標値	平成31年度 目標値
1	購入電力	14,386 kWh	13,368 kWh	13,216 kWh	14,952 kWh	14,379 kWh	15,662 kWh	4.7%増加	14,379 kWh	14,379 kWh
	CO_2排出量	7,135 kg-CO_2	6,631 kg-CO_2	6,555 kg-CO_2	7,416 kg-CO_2	7,132 kg-CO_2	7,768 kg-CO_2		7,132 kg-CO_2	7,132 kg-CO_2
2	工事車輌燃費 ガソリン	10.6 km/ℓ	10.3 km/ℓ	10.5 km/ℓ	12.2 km/ℓ	11.0 km/ℓ	12.0 km/ℓ	1.6%増加	11.0 km/ℓ	11.0 km/ℓ
	工事車輌燃費 軽油	7.91 km/ℓ	9.47 km/ℓ	8.93 km/ℓ	10.50 km/ℓ	9.72 km/ℓ	10.44 km/ℓ	0.6%増加	9.72 km/ℓ	9.72 km/ℓ
	燃料購入量 ガソリン	12,672 ℓ	13,837 ℓ	11,107 ℓ	11,777 ℓ	12,481 ℓ	13,772 ℓ	16.9%増加	12,481 ℓ	12,481 ℓ
	燃料購入量 軽油	6,389 ℓ	7,330 ℓ	5,887 ℓ	6,426 ℓ	7,730 ℓ	7,039 ℓ	9.5%増加	7,730 ℓ	7,730 ℓ
	CO_2排出量 ガソリン	29,420 kg-CO_2	32,125 kg-CO_2	25,787 kg-CO_2	27,342 kg-CO_2	28,977 kg-CO_2	31,974 kg-CO_2	16.9%増加	28,977 kg-CO_2	28,977 kg-CO_2
	CO_2排出量 軽油	16,767 kg-CO_2	19,236 kg-CO_2	15,449 kg-CO_2	16,864 kg-CO_2	20,286 kg-CO_2	18,473 kg-CO_2	9.5%増加	20,286 kg-CO_2	20,286 kg-CO_2
3	産業廃棄物	1.87 t	2.360 t	6.970 t	1.800 t	2.300 t	2.660 t	47.7%増加	2.300 t	2.300 t
	一般廃棄物	0.941 t	0.766 t	0.850 t	0.697 t	0.765 t	0.734 t	5.3%増加	0.765 t	0.765 t
	再資源化率	94.9%	98.8%	96.0%	100.0%	97.0%	100.0%	＋3%	97.0%	97.0%
4	コピー用紙使用量	0.381 t	0.434 t	0.514 t	0.569 t	5.867 kg/件	(0.563t) 3.752 kg/件	1.1%削減	5.867 kg/件	5.867 kg./件
5	化学物質使用量	0.018 t	0.008 t	0.018 t	0.029 t	0.019 t	0.016 t	44.8%削減	0.019 t	0.019 t
6	水使用量	135 m^3	128 m^3	132 m^3	150 m^3	(156) 0.389 m^3／人	(108) 3.176 m^3／人	28%削減	0.389 m^3／人	0.389 m^3／人
7	社会貢献活動	13 回	13 回	13 回	13 回	13 回	13 回	±0%	13 回	13 回
8	工事現場に於ける実施状況チェック表（個人用）	3.18 点	3.24 点	3.72 点	3.82 点	3.18 点	3.82 点	＋20%	3.18 点	3.18 点
9	(ｸﾞﾘｰﾝ商品数/総合商品数) グリーン購入量	(56/105) 54 %	(54/91) 59 %	(52/83) 63 %	(52/83) 56 %	55 %	(63/113) 56 %	±0%	55 %	55 %
10	環境に配慮した設計施工の推進、提案	2 件	3 件	3 件	3 件	3 件	3 件	±0%	件	件
11	CO_2排出量合計	53,322 kg-CO_2	57,992 kg-CO_2	47,791 kg-CO_2	51,622 kg-CO_2	56,395 kg-CO_2	58,215 kg-CO_2	12.78%増加	56,395 kg-CO_2	56,395 kg-CO_2
	環境負荷解析結果（工事件数当たり）	874 kg-CO2	794 kg-CO2	562 kg-CO2	400 kg-CO2	437 kg-CO2	388 kg-CO2		705 kg-CO2	705 kg-CO2
		基準年度からの総量評価 →		-29.2 %	-49.6 %	-45.0 %	-51.1 %		% -11.3 %	-11.3 %
	工事件数	61	73	85	129	129	150		80	80

※CO2排出係数は、**関西電力の平成２７年度排出係数0.496kg-CO2/kWhを使用します。**
平成２９年度の目標値において、コピー用紙使用量は工事１件当たり、水使用量については、社員一人当たりの使用量を
平成２５年から平成２８年の実績平均値を基準とし、目標値の見直しを行います。
また、燃料の購入量、燃費については、車両の入替えにより平成２８年度実績をもとに見直しを行います。
環境に配慮した設計施工の推進、提案については、今後も提案、推進は続けるが、管理項目から外すものとします。
※グリーン購入の目標値は、事務用品の購入品目数の内に占めるグリーン購入品目数の比率向上です。
※チェックリスト表に基づき５点満点内の実績点数を社員全員分平均をだしたものが目標値の値になっています。（項目８）
※達成率は実績値／目標値で計算しています。

5. 環境活動計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容 （1）

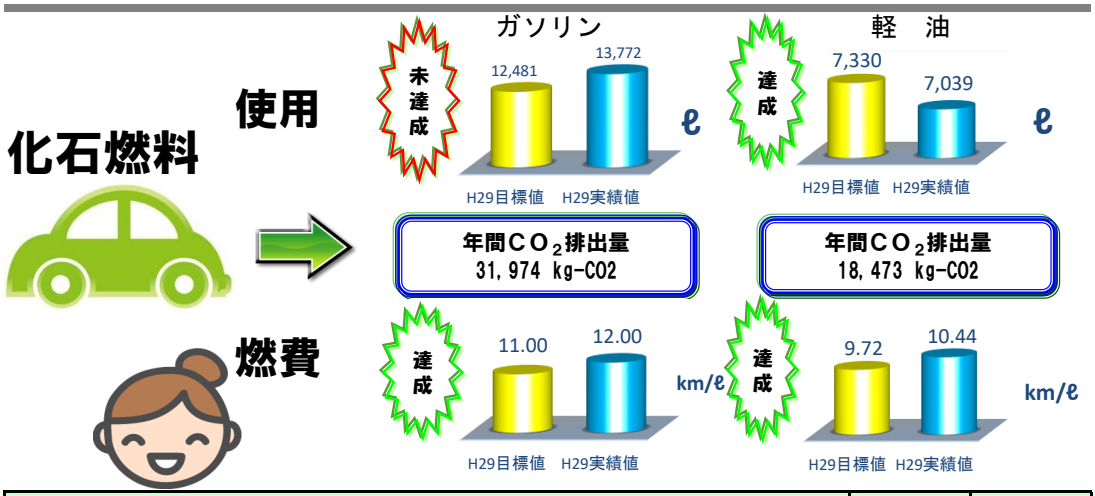
（平成29年9月～平成30年8月）



取り組み計画 （◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった）	達成状況	継続／変更
電力の削減		
数値目標 □上方修正 □下方修正 □基準見直し		
1、月単位で事務所稼動時間を集計する	△	継続
2、LED器具へ取替	△	継続
3、夜間常夜灯の点灯時間の適正設定	○	継続
4、事務所南面窓に断熱フィルムを貼り付け	△	継続
5、3階～屋上踊り場の熱気対策を検討する。（窓に網戸取り付け）	○	継続

【評価と次年度の取組み内容】

～推進委員～ 小川　隼輔	夏季は非常に暑く、また、事務所のパーテーション時変更による事務室面積拡張により電力使用量が増加、目標達成ができなかった。しかし、昼休み時の照明消灯、エアコンの設定温度の適正化も実施できているので、今後も引続き継続実施し、電力の削減に努めます。



取り組み計画 （◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった）	達成状況	継続／変更
自動車燃料の削減・自動車燃費の改善		
数値目標 □上方修正 □下方修正 □基準見直し		
1、エコドライブ10の勧めの周知・徹底	○	継続
2、各現場の最短距離を調べ運行する	△	継続
3、アクセルストッパー取付けにより抑制する	○	継続
4、アイドリングストップを周知・徹底する。	△	継続

【評価と次年度の取組み内容】

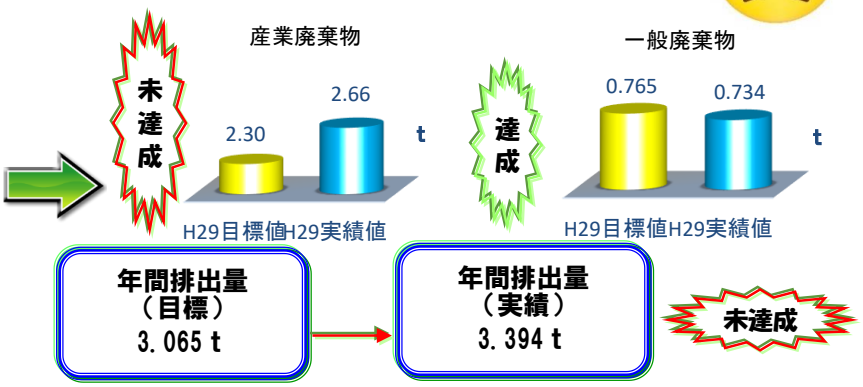
～推進委員～ 桑原　靖	購入量削減について、遠方現場が多かったため、軽油については達成できたが、ガソリン購入量が少し増えた、燃費共については、ガソリン、軽油共に達成できました。次年度も社員一人ひとりのエコドライブ意識向上に努めます。

5. 環境活動計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容（2）

（平成29年9月～平成30年8月）

廃棄物

排出量



取り組み計画 （◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった）	達成状況	継続／変更
産業廃棄物の削減		
数値目標 □上方修正 □下方修正 □基準見直し		
1、ゴミ箱を配置し分別収集を確実に行う	△	継続
2、ゴミの排出量をグラフ化し一人一人の意識付けを行う	△	継続
3、下請け会社作業員にもゴミの分別収集の協力を要請する。	○	継続
4、現場のゴミ分別状況チェックの定期実施を周知する。	△	継続

【評価と次年度の取組み内容】

～推進委員～
渡辺　晋一

資材倉庫の一斉整理による、不用品の処分を大量に排出したため、目標達成できなかった、しかし、産業廃棄物の削減に対する意識は強くなってます。今後も今まで以上に削減意識を高めて目標達成を目指します。

水使用量

取り組み計画 （◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった）	達成状況	継続／変更
水道水の削減		
数値目標 □上方修正 □下方修正 □基準見直し		
1、トイレでの二度流しの防止	○	継続
2、本社・倉庫退出時止水確認の徹底	○	継続
3、トイレタンク給水流量を減らす	△	継続
4、洗濯機の水量設定を少なくする。	○	継続

【評価と次年度の取組み内容】

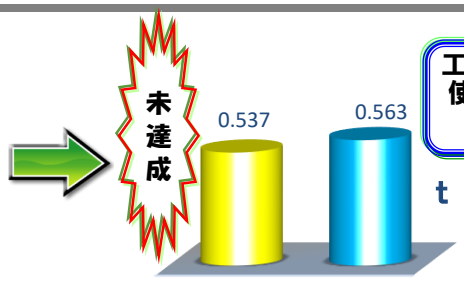
～推進委員～
阿部　美咲

会社トイレの使用について、便利な一階トイレ（タンク式）を使用制限し、二階の小便専用トイレを使用する試験を行ったところ、期待以上の使用量削減ができた。不便ではあるが、全社員の節水意識は高まり削減努力を引続き実施していきます。

5. 環境活動計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容（3）

（平成29年9月～平成30年8月）

コピー用紙使用量



工事1件当たりの使用量（目標）
5.687kg/1件

工事1件当たりの使用量（実績）
3.753kg/1件

達 成

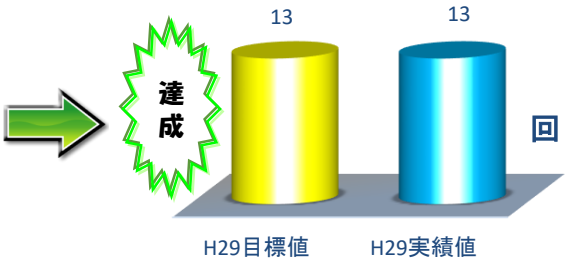
取り組み計画 （◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった）	達成状況	継続／変更
コピー用紙の削減		
数値目標 □上方修正 □下方修正 □基準見直し		
1、社内連絡事項等のペーパーレス化、口頭・メールにて連絡	△	継続
2、社内文書のペーパーレス化を重点的に行う	△	継続
3、裏紙をメモに使わずノートを活用する	△	継続
4、社内掲示板に具体的な削減方法を貼りだし使用量削減の注意喚起する	○	継続
5、在庫設置個所に当月計画値分を分かるように置いておく	○	継続
6、コピー機付近に計画値が上回る前に、数字を貼りだす	◎	継続

【評価と次年度の取組み内容】

～推進委員～
阿部　美咲

予定以上の工事件数増加により、印刷物が増えたことにより目標を達成することができなかった。
コピー機に今月残りの用紙枚数を明示したり、集約印刷を活用し削減を引続き実施し、目標達成を目指します。

社会貢献活動



取り組み計画 （◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった）	達成状況	継続／変更
環境保全活動		
数値目標 □上方修正 □下方修正 □基準見直し		
1、台風通過後等の会社・倉庫・駐車場周辺道路の清掃する	○	継続
2、日頃からのゴミ広い習慣を身につける	○	継続
3、地域の清掃活動にも積極的に参加する	○	継続
4、新入社員へ本社、倉庫周辺のゴミ拾い実施の気づきを教育をする	○	継続

【評価と次年度の取組み内容】

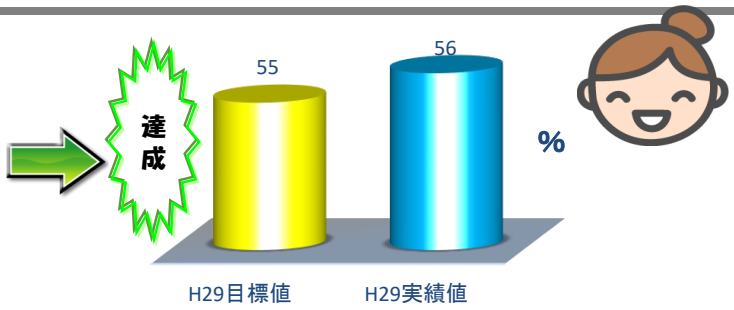
～推進委員～
岩佐　克哉

昨年同様　毎月月末の清掃活動と年一回の河川清掃活動の目標は達成できた。
次年度も活動を継続していきます。

5. 環境活動計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容 （4）

（平29年9月～平成30年8月）

グリーン購入

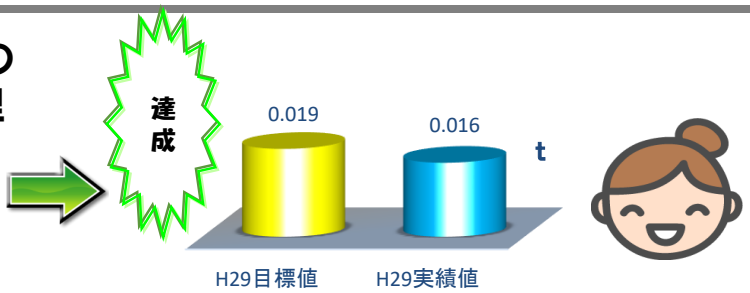


取り組み計画 （◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった）	達成状況	継続／変更
購入資材への環境配慮		
数値目標 □上方修正 □下方修正 □基準見直し		
1、現場で使用する事務用品の見直しをしていく	△	継続
2、事務用品、資材購入前に再度チェックする	○	継続
3、購入前に数社からグリーン購入商品の有無を調べてから購入する	△	継続
4、グリーン購入品に変えられないかを再度チェックし購入する	○	継続

【評価と次年度の取組み内容】

～推進委員～ 堀川　輝雄	グリーン購入一覧表を定期的に追加品目が無いか等チェック更新し、購入前に再度グリーン購入が可能か否か確認して購入することで、目標値を達成することが出来きました。 来年度も可能な範囲でグリーン購入商品を選別し、目標達成に努めます。

化学物質使用の適正・維持管理



取り組み計画 （◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった）	達成状況	継続／変更
化学物質使用の適正・維持管理		
数値目標 □上方修正 □下方修正 □基準見直し		
1、ペンキ置場の整理整頓を行う	○	継続
2、塗料購入前、現場間で連絡を取り合いペンキの在庫状況を確認する	○	継続
3、適正に管理されているか定期的に点検する	△	継続
4、塗料、シンナーの保存、保管方法の周知徹底を行う	○	継続

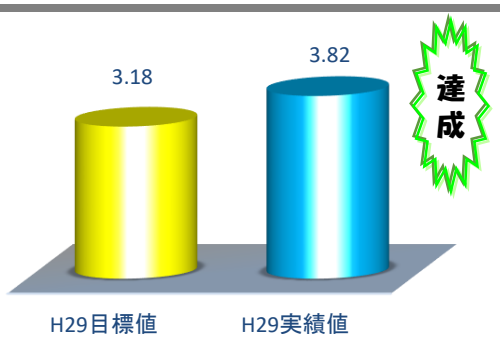
【評価と次年度の取組み内容】

～推進委員～ 渡辺　晋一	塗料、シンナー購入前に、現場間での在庫の確認を行うことで、不要な購入もなく目標を達成することができました。 次年度も引続き現場間の連絡を密にとり、不要なペンキ購入が無い様に管理します。

5. 環境活動計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容（5）

（平成29年9月～平成30年8月）

工事現場に於ける
実施状況チェック表(個人用)



取り組み計画 （◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった）	達成状況	継続／変更
工事現場に於ける実施状況チェック表（個人用）		
数値目標	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	
1、社員全員が目標を設定し、意識向上を図ります	○	継続
2、個人チェック表を現場に合った内容に見直す	○	継続
3、年齢別、部門別に項目分けをし、集計する	△	継続
4、個人チェック表を電子化しいつでも見れるようにチェックしやすくする	○	継続

【評価と次年度の取組み内容】

～全社員～	個人の実施状況チェック表を電子化することで、いつでも状況をチェックできる仕組み作りを実施し意識向上に努めました。 社員一人一人のエコ意識定着されています。 引き続き活動を継続します。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

（１） 法的義務を受ける主な環境関連法規制については、次のとおりです。

適用される法規制等	
・廃棄物処理法	廃棄物収集･運搬事業者及び廃棄物処理業者との委託契約 マニフェスト伝票の5年間保管
・建設リサイクル法	分別解体で発生した特定建設資材廃棄物の再資源化
・建築基準法	撤去した非飛散性石綿等の厳正処分
・騒音規制法	特定建設作業開始の7日前までに市長に届出
・振動規制法	特定建設作業開始の7日前までに市長に届出
・自動車排出NOx・PM法	事業活動に伴う自動車排出窒素酸化物等の排出抑制の ために必要な措置を講ずるように努める
・自動車リサイクル法	資金管理法人への再資源化等預託金の預託義務 引渡業者への使用済み自動車の引き渡し義務
・高圧ガス保安法	容器の定期検査 高圧ガス容器の転倒防止処置
・フロン排出抑制法	フロン排出の禁止 フロン類算定漏えい量等の報告 定期点検の実施、記録の保存
・道路運送車両法	事業用自動車の適正な整備、点検
・消防法	危険物の指定数量以下の保管

（２） 環境法規制の遵守状況に関する定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありません。

（３） 過去３年間、関係機関等から環境関連法規制について指導・指摘等はありません。
また、訴訟等も１件もありませんでした。

推進委員 ： 山口　寛

7. 全 体 評 価

購入電力や産業廃棄物排出量、コピー用紙使用量増加は計画段階以上の現場数によるものと思われます。しかしその一方で化石燃料の燃費、また核となるCO2総排出量が削減できたことは社員一人ひとりの意識の向上によるものと確認でき、称賛に値するものであると考えます。

この取り組みも来年度で10年目を迎えます。認定をいただいた当初より社員数、現場数も増えていますが近年計画値の制定が過去の実績の延長になっているところも見受けられます。

その様な制定方法ではなく予算と同じように年度初めにしっかり議論し、一年間の計画を立てる様に進化していかねばならない。なぜならば計画値を守ることだけが目的ではなく、どの様なプランを立て実行していく、そこにPDCAを回していき企業そのものを成長させていくことが目的と考えるからです。この事を私自身も委員・社員と共に実行していくこ10年目にしていく所存です。

山口電気工事株式会社

代表取締役 山口 節夫